

講義ユニット名	精神	所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	おかもと やすまさ 岡本 泰昌	所属	精神神経科 (内線 2333)
		メール	oy@hiroshima-u.ac.jp
講義ユニット コーディネーター	おかだ ごう 岡田 剛	所属	精神神経科 (内線 2336)
		メール	gookada@hiroshima-u.ac.jp
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な治療者患者関係を構築するための精神科面接について学習する。 ・うつ病や統合失調症など、精神科医療でかわる精神障害の概念・病態の理解、および診断、治療法について学習する。 ・病態理解は生物学的、心理的、社会的観点から行う。 ・治療法は薬物療法、精神療法を重点的に学習する。 		
講義ユニットの 到達目標	<p>患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。</p> <p>精神科診断分類法（多軸診断システムを含む）を説明できる。</p> <p>精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健および精神障害者福祉に関する法律、心身喪失者等医療観察法、インフォームドコンセント）を説明できる。</p> <p>コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。</p> <p>脳科学と精神医学との関連について説明できる。</p> <p>地域医療と精神医学との関連について説明できる。</p> <p>心理学的検査法の種類と概要を説明できる。</p> <p>ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を概説できる。</p> <p>ナルコレプシーを概説できる。</p> <p>高齢者の心理・精神の変化を理解し、対応できる。</p> <p>不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。</p> <p>不眠と幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断と治療を説明できる。</p> <p>症状精神病の概念と診断を概説できる。</p> <p>認知症の診断と治療を説明できる。</p> <p>薬物の乱用、依存、離脱の病態と症候を説明できる。</p> <p>アルコール依存症の病態、診断と合併症を説明できる。</p> <p>統合失調症の急性期の診断と救急治療を説明できる。</p> <p>統合失調症の慢性期の症候と診断を説明できる。</p> <p>うつ病の症候と診断を説明できる。</p> <p>躁うつ病の症候と診断を説明できる。</p> <p>不安障害（パニック障害、恐怖症性あるいは全般性不安障害）の症候と診断を説明できる。</p> <p>ストレス関連疾病（外傷後ストレス障害<PTSD>を含む）の症候と診断を説明できる。</p> <p>心身症（摂食障害を含む）の症候と診断を説明できる。</p> <p>主な精神疾患・障害の治療を概説できる。</p> <p>解離性<転換性>障害の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>身体表現性障害の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>人格<パーソナリティ>障害を概説できる。</p> <p>精神遅滞<知的障害>と広汎性発達障害<自閉症>を概説できる。</p> <p>多動性障害と行為障害を概説できる。</p> <p>自殺に関する病態（特にうつ病との関連から）、治療、対策を説明できる。</p>		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	講義については3分の2以上の出席を試験の受験要件とする。特別講義については全ての出席を試験の受験要件とする。		

評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)
評価法	MCQ形式と記述形式併用で試験を行う(配点: MCQ 90点、記述 10点)。 本試験における合格基準は60点とする。
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 標準精神医学 第6版 現代臨床精神医学 DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引 【その他、学習に有用な参考書等】 カプラン臨床精神医学テキスト